

さんらくえん通信

編集：下野三楽園編集委員会 第1号

みんなでハイキング

三楽園恒例榛名山ハイキング

毎年恒例のハイキングが五月二日に行われた。この行事は、子どもと職員が一緒になって楽しい時間を過ごす貴重な機会となっている。

当日は晴天に恵まれ、爽やかな気分です。午前九時五十分に園を出発。目指すは園からもよく見える、この地域のシンボリックな「榛名（はるな）山」で、頂上まで約一時間半の道のりである。

参加は五歳の幼児から高校一年生までの子ども達と職員の合わせて二十一名。小学二年生の双子のK君たちのお父さんも参加。まぶしい位の新緑の木々の間を鳥のさえずりを聞きながら森林浴。途中やや険しい岩場も声を掛け合いながら頑張り、充実感に満ちた笑顔が見られた。何と幼児二名も身体全体を使って一歩一歩登っていきやがて頂上へ。その姿にはみんなびっくり。

頂上では、そこから見える景色に感動。水を張った田んぼが鏡のようにキラキラと光って見えた。子ども達は「園が見えた！あれが小学校！」と歓声を上げ、その後、調理員さん手作りの弁当を頬張った。(内山)

たのしいやまのぼり

小学校2年 S

ハイキングがたのしかったです。山のぼりしたとき、いちばん上ったのぼたうすうたかかなたです。山のてっぺんであべんとうをたべました。とてもおいしかったです。こんどもハイキングにいきたいです。

はやくお弁当
食べたいな！



いのししが
出たら戦うぞ！

『さんらくえん通信』発刊によせて

園長 田村匡彦

下野三楽園は大正元年に創設されました。ここでは今、様々な事情で親と暮らすことができない子ども達（幼児～高校生）が生活しています。園の子ども達は、寒い時も暑い時も、田園や森に囲まれた豊かな自然の中で、目一杯遊んでいます。

明るく元気な子ども達ですが、個々の背景とともに課題は多くあります。時には、子ども達

の言葉にできない想いに私たち職員が打ちのめされることもあります。しかし、子ども達を見守り、成長を支えていくことで力をもらうことも少なくありません。

三楽園では、子ども達が社会の中で自分の力を発揮し生きていけるよう様々な取り組みを行っています。子ども達が懸命に生きる姿をこの通信でお伝えしていきたいと思います。

居室だより

元気いっぱい!! わんぱく盛いの『7居室』



下野教育美術展作品「たたかうクワたち」(版画) 小4U

三楽園はAブロック・Bブロックと2つのブロックに分けられています。Aブロックは小学4年生から中高生の男子が生活しています。Bブロックは小学1年生から3年生男女と中高生女子が生活しています。居室数は全部で9つです。その中で今回は、『7居室』を紹介します。

『7居室』は小学4年生から6年生の男子児童6名です。とても活発な男の子ばかりで天気の良い日は、グラウンドで汗をかきながら遊び回っています。洗濯物はいつもドロだらけ、それを見ると職員は少しため息がでます(笑)。これからも元気一杯すくすくと育て欲しいと思っています。(石川)

慈悲

お地藏さまは、私たちが大好きです。私たちが嬉しい時、静かに微笑みながら、あたたかい眼差しで私たちを見ていてくれます。

お地藏さまは、私たちが大好きです。私たちが辛い時、その手を握り、まるで自分が苦しく、自分が悲しいかのように泣いてくれます。お地藏さまは、いつでも私たちの苦しみや悲しみに寄り添っています。

力が強いわけではない。言葉が上手なわけでもない。何もできなくても、何も持っていないくても、何も言ってもあげられなくても、ただ見ていてくれる人。ただ、ただ、泣いてくれる人。あなたのまわりのそんな人。それはあなたのお地藏さま。あなたも誰かのお地藏さまです。

日光山輪王寺

鈴木常元

きたん しのい奇譚

篠井地区と火山の深い関係?

日本は世界でも有数の火山国であり、世界中の活火山の10%が日本に集中しています。

さて、三楽園のある篠井地区も火山の影響を少なからず受けている地域であり、日光の男体山を始め、数々の火山からの噴出物などが、数十万年もの年月をかけて数百センチも降り積もって出来ている土地なのです。この噴出物には、動植物の生存に必要な栄養素がたくさん含まれていて、火山がなければ、この地は様々な動植物が生息する豊かな土地にはなっていなかったかもしれません。火山というと、多くの人は怖いイメージを抱きがちですが、美しい自然環境や温泉という副産物を生み出す一面もあるので、(西宮)



ご寄付・ご支援のお願い

下野三楽園では、平成22年度施設整備に伴う約1億円の自己資金確保を目指しています。また、子ども達の学習指導や習い事、環境美化や修繕など、様々なボランティアの協力を求めています。

皆様のご協力をお願いします。

ご寄付振込口座

足利銀行 戸祭出張所 普通49622

口座名義人: 社会福祉法人 下野三楽園

理事長 鈴木常元

※本園へのご寄付は確定申告で「寄付控除」が受けられます

いよいよ梅雨の季節の到来。
豊かな田園風景が広がる三楽園周辺。
通学路を往く子ども達の色とりどりの傘は、まるで若葉の波間に花が咲くよう。
光輝く夏まであとひといき!



発行元:

社会福祉法人 下野三楽園

発行責任者: 田村匡彦

〒321-2105 栃木県宇都宮市下小池町 194 番地

Tel: 028-669-2131 Fax: 028-669-2241

E-mail: shimotsuke-sanrakuen@nifty.com